

会 議 記 録				
会議の名称	議会運営委員会			会議場所 全員協議会室
				担当職員 小野
日 時	令和6年4月19日（金曜日）			開 議 午前 9時55分
				閉 議 午前10時34分
出席委員	◎福井 ○木村 竹内 大石 三上 山本 平本 <菱田議長、浅田副議長>			
執行機関 出席者				
事務局 出席者	吉田事務局長、数井事務局次長、野澤副課長兼総務係長、小野議事調査係長 駒田主任、福沢主査			
傍 聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員5名（小林、大塚、山木、 小川、西口）

会 議 の 概 要

9：55

[福井委員長 開議]
[事務局長 日程説明]

1 議会基本条例の検証及び見直しについて

[議事調査係長 説明]

<福井委員長>

各会派で取りまとめ、5月24日（金）までに事務局に提出をお願いする。

（次回以降の検討を実施する日程調整を行い、下記のとおり決定）

7月10日（水）午前10時、7月22日（月）午前10時

8月20日（火）午前10時

2 6月議会の対応について

（1）副市長、教育委員のあいさつ

[事務局長 説明]

<福井委員長>

先例・申合せのとおり、議会開会後の諸報告であいさつを受けることでよいか。

—全員了—

（2）理事者の紹介

[事務局長 説明]

<福井委員長>

コロナ前は課長級を議場で紹介していたが、その後コロナ対策として密を避けるため、議場で課長級を紹介していない時期があった。去年は少し対応を緩めたが、特に弊害はなかった。理事者からは、議場で紹介することによって課長級の自覚が芽生える、一つのステータスになるという意見や特に議場での紹介は必要ないという意見がある。課長級は常任委員会等であいさつするため、議場での紹介は必要ないということであれば、前回のような形でよいと思う。この件については、議会が決めることであるため、各委員の意見を伺いたい。

<大石委員>

議場で紹介されたい方がいるのであれば、その方に配慮して実施してもよいと思う。

<平本委員>

モチベーションが上がるという意味ではよいと思うが、時間が拘束されることや、紹介されなくてもよいという方がいることを考えると前回と同様の対応でよいと思う。

<竹内委員>

ステータスになるということもあると思うが、時間が拘束されることを考えるとシンプルに前回と同様の対応でよいと思う。

<山本委員>

前回と同様の対応でよいと思う。

<三上委員>

前回と同様の対応でよいと思う。

<木村副委員長>

前回と同様の対応でよいと思う。

<福井委員長>

各委員とも同様の意見であるため、前回と同様の対応とすることでよいか。

—全員了—

<事務局次長>

部長級のあいさつは、昇格、異動した者のみを対象とするのか、全部長級を対象にするのかお諮りいただきたい。

<福井委員長>

全部長を対象とすることでよいか。

—全員了—

<福井委員長>

令和4年度のように、昇格・異動対象の課長級を部長級が自席で紹介しなくてもよいか。

<三上委員>

令和4年度は、議員が新たに第18期になり、議員が継続か新しい部長か分からなかったため、昇格・異動対象の部長級及び課長級を紹介していただいた。令和5年とはそういった違いがあると認識している。今はよく分かっているので、昇格・異動対象者だけでもよいとも思うが、全員紹介していただいてもよい。特にこだわってはいない。

<平本委員>

委員長が提案されたとおり、課長級は委員会等であいさつするため、議場で紹介しなくてもよいと思う。

<福井委員長>

議場で課長級を紹介しないことでよいか。

—全員了—

(3) 議会運営上の新型コロナウイルス感染症対策について

[事務局長 説明]

<福井委員長>

消毒液の設置やCO₂濃度測定については、これまでと同様の対応である。議場のドア開放について、傍聴者席入口は常時開放とするが、議席入口のドアは基本的に

開放とし、気温などに応じて臨機応変に対応することでよいか。
—全員了—

3 その他

(1) 議会運営委員会の行政視察について

(2) 常任委員会の行政視察について

[事務局次長 説明]

(3) エコ・オフィス推進期間(5月1日～10月31日)

(4) 今後の委員会等の日程

[事務局長 説明]

<福井委員長>

議会運営委員会及び各常任委員会の行政視察、エコ・オフィス推進期間、今後の委員会などの日程については、説明のとおりであるので、これらの内容で確認いただきたいがよいか。

—全員了—

<福井委員長>

その他、事務局から報告事項はあるか。

<事務局長>

早稲田マニフェスト研究所「議会改革度調査2023」の調査結果が公表されたため報告する。全国1,784議会中、1,562議会が回答し、亀岡市議会は昨年度と同じ総合16位であった。全国的に議会活性化の取組が進められている中、高順位を維持できたのは、実質的に本市議会の順位が躍進し、日々の取組が評価されていると考えられる。政策提言や政策研究会の立ち上げ、QRコードを活用した紙面上を超えたデジタルでの情報発信、ペーパーレスの実施、議会モニター制度の創設などが高順位につながったと考えられる。

<福井委員長>

過去に高順位であった京都府内の議会の順位が不安定な中、本市議会が高順位を維持できているのは、日々の取組の積み重ねであると考え、皆様に改めて感謝申し上げます。

散会 10:34